

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
12022 (12015) (12017)	歴史学A (日本・東洋史A) (日本・東洋史B)	2単位 後期	1~4	講義	麻生 伸一

■テーマ 歴史から現在を考える

■授業の概要

本講義では、ものごとを批判的に捉え、多角的・多面的に見つめることを歴史学の研究に基づいて概説します。また、芸術を志向する学生が受講することを踏まえ、絵画資料などを使いながら、わたしたちの住む世界、社会を考えます。そのため、いわゆる古代から近現代までの歴史を通観することはせず、日本やアジアを中心とした研究をとり上げ、その研究を体験してもらうことに重きをおいた授業を行います。また、他の受講生とのコミュニケーションを取りながら、自身の考えを論理的に構築することをめざします。講義中は、指名して意見を求めます（けっこうあてると思いますが）。

■到達目標

- ・歴史学の方法論に関する基礎的な知識を習得する。
- ・「歴史」や「文化」が社会的に定義され、解釈されてきたことを論理的に理解すること。
- ・それらを自らの視点で多角的、かつ広範な視野で捉え、具体的に説明することができること。

■授業計画・方法

1. ガイダンス
2. 歴史をみる視点：動物虐殺とキリスト教
3. 聖徳太子は存在したか？：「歴史」の創出と歴史観について
4. 中世の「自由」：異形、自力救済、もののけ姫
5. 中世の「自由」：倭寇と国家
6. 近世の将軍と天皇：図像にみる権威と権力
7. 「わたしたち」と「あなたたち」：図像にみる自己認識
8. 見ない外交、触れない外交：近世東アジアの外交について
9. 近代国家と「国民」の創出：権利と義務から「国民」を考える
10. 戸籍と国籍：「日本人」の近代
11. こどもと近代
12. 戦後と表象
13. 台湾の歴史と台湾アイデンティティ：民族と国家
14. 【映像鑑賞】台湾の近代と現在
15. 総合討論／まとめ

定期試験は実施しない

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

レポート（課題論文の論評、1200字程度）の作成を求めます。

■成績評価の方法・基準

- 方法 レポート（70%）と平常点（リアクションペーパー、講義への参加度／30%）で評価します。
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□参考文献

- 網野善彦『日本の歴史をよみなおす（全）』（ちくま文芸文庫、2005）
成田龍一『近現代日本史と歴史学』（中公新書、2012）